

つるみ在宅ケアネットワーク 第19回公開勉強会 報告書

日時 令和5年11月18日(土) 14:00~16:00

場所 鶴見区医師会3階会議室+Zoomセミナー研修

14:00 開会の挨拶

鶴見区医師会 理事長
宮下 裕子 氏



鶴見区役所 福祉保健センター長
市川 裕章 氏



14:05 講師紹介

司会：在宅医療連携拠点担当
佐藤 忠昭 氏



第1部講演

14:06~15:00

テーマ：認知症をいきるひとの意思決定支援をめぐる

さまざまな人生をくぐりぬけて来られた方々から教わったこと

講師：済生会横浜市東部病院 院長補佐 脳神経センター 神経内科部長 後藤 淳 氏

認知症をいきるひとの意思決定支援をめぐる

さまざまな人生をくぐりぬけて来られた方々から教わったこと

済生会横浜市東部病院 脳血管・神経内科
後藤 淳



講演の内容

- ・ 認知症診療をめぐって
- ・ 認知症ケアの視点から
- ・ ACP（人生会議）について
 - 元気なうちから ACP、病院で ACP を行う難しさ
- ・ 意思決定支援とは何か？
- ・ 意思決定支援をめぐって
- ・ 認知症をいきるひと ACP とその課題
- ・ 認知症診療の 3 原則
- ・ 注意すべきポイント（外来編・入院編）
- ・ 主な認知症のタイプ
 - アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症
- ・ 事例 3 例
 - 80 代女性、80 代男性、70 代女性
- ・ 認知症診療の理想と現実
- ・ 現場／総合病院で起きていること

第 2 部講演

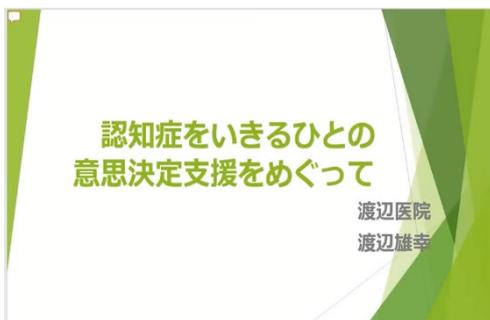
15：06～15：19

(1) テーマ：認知症をいきるひとの意思決定支援をめぐって

講師：渡辺医院 渡辺 雄幸 氏

講演内容

- ・ 人生会議について、進め方
- ・ 事例 80 代 女性
- ・ 症状の経緯と人生会議開催の内容について
- ・ 課題



15：19～15：28

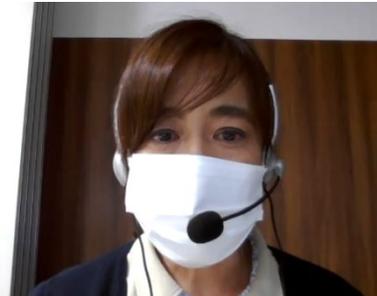
(2) テーマ：独居の方が癌に、そして認知症になりました

—終末期を迎えるにあたり、医師の意見と在宅サービススタッフの
意見が違う事例において、訪問看護の役割—

講師：在宅支援センター ひなたぼっこ 管理者・看護師 竹内 あかね 氏

講演内容

- ・事例 80代 女性
- ・本人の背景、病状の経過
- ・認知症状の出る前の経過から意思決定支援の実際
- ・考察と対応



15：28～15：38

(3) テーマ：ふるさとへ帰れなかったHさん

～助けてください、食べる物がないんです～

講師：ハートプラス 管理者・主任ケアマネジャー 山田 伸子 氏

講演内容

- ・事例 70代 男性
- ・支援経過
- ・療養場所の変更時、電話連絡のエスカレート時を中心にした実践の経過
- ・考察とまとめ



15 : 38～15 : 50

(4) テーマ：認知症高齢者への意思決定支援

—介護老人保健施設での取り組み—

講師：うしおだ老健やすらぎ 施設長 窪倉 孝道 氏

講義内容

- ・認知症高齢者の意思決定支援の難しさ
- ・うしおだ老健やすらぎの理念と5つの活動方針
- ・職員アンケートの実施と結果
- ・考察とまとめ



15 : 50～16 : 00

意見交換・質疑応答

鶴見区医師会 理事長 宮下 裕子 氏



16 : 00

まとめ、閉会の挨拶

在宅医療連携拠点担当医 佐藤 忠昭 氏



勉強会運営の様子

参加者総数 88名（講師含む）

医師：8名 薬剤師：3名 歯科医師：1名
看護師：25名 セラピスト：3名 地域包括支援センター：5名
ケアマネジャー：7名 病院連携室：1名 臨床工学技士：1名
市民：22名 行政：4名 事務：8名